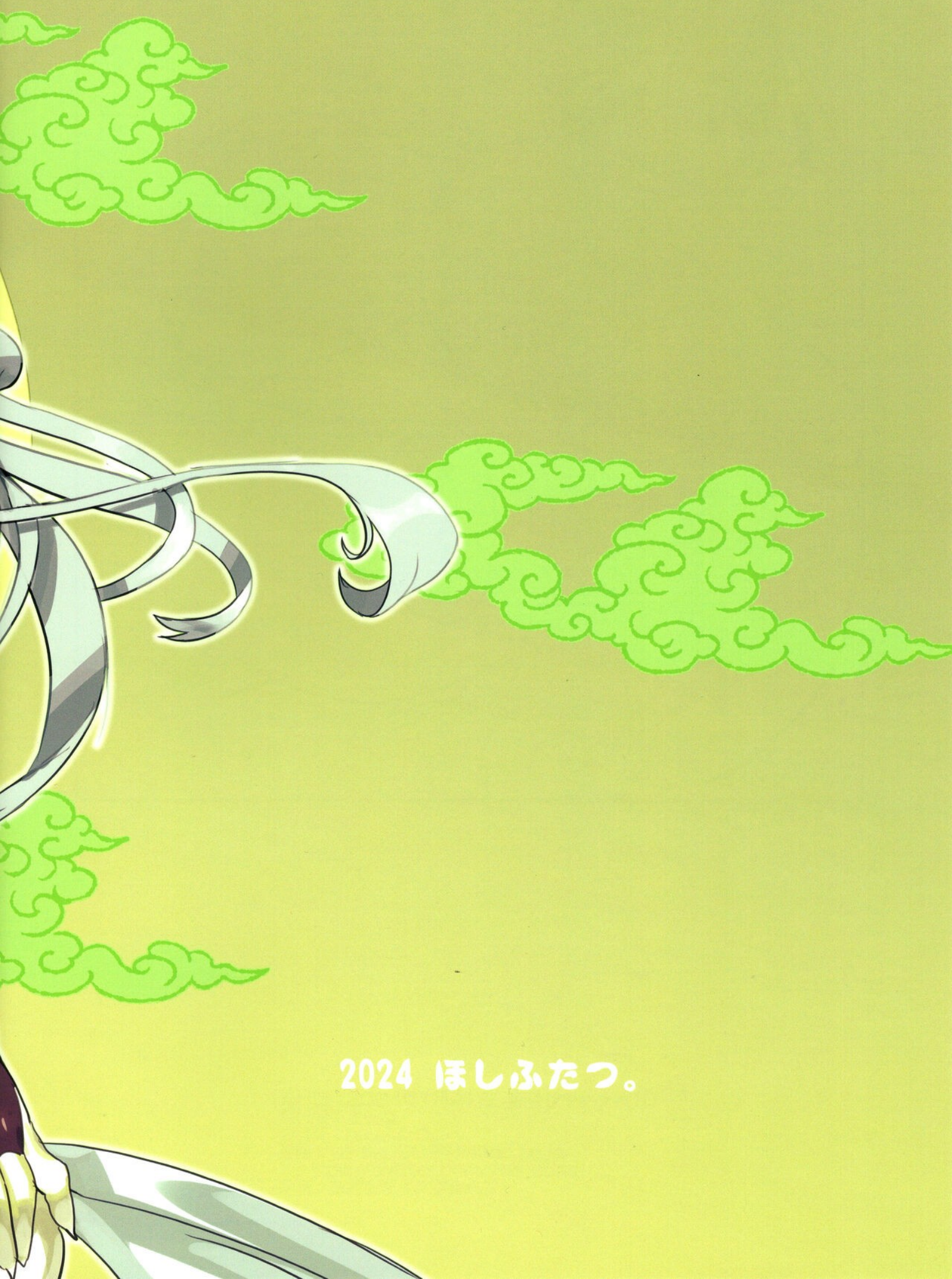


成人向

姤
声

幽
谷
に
薫
る





2024 ほしふたつ。

深い山奥の秘境の
そのまた奥の山々

仙郷にて







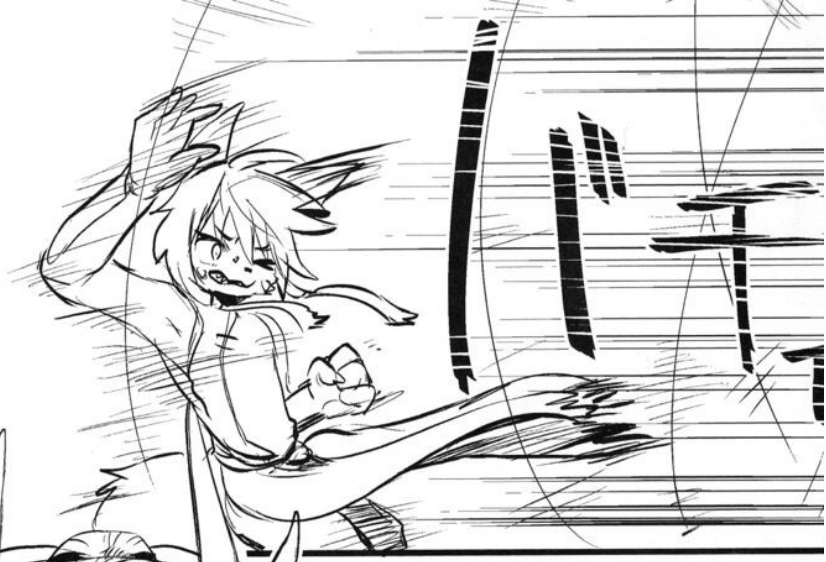
よし!!

裏を取つ...





うん
よく
凌いだね



合格だよ

今日より
龍仙寺拳術
"皆伝"を
名乗るといい



龍仙寺拳術開祖
仙龍"三狐"



皆まで6年…
よくぞこの
短期間で
ここまで
練り上げたね

ありがとうございます
ございます!!

あ…

あの日…
十歳の時に
師匠に命を
救われてから
決めていました



師匠に認められる
くらい強くなつて
僕のような
悲劇に見舞われる
人達を
少しでも
減らしたいって



うん
素敵だ

もうそれを成すだけの
力もついている

もはや並の野党では
お前の相手に
すらならない
成すべき
事を成しなさい

はい!
ではすぐにも
出立致します!
お世話

待て



嘘である

やだあああ

どうして6年で皆伝しちゃうの?!

普通は皆伝まで
数十年はかかるのに!!

わざと難易度高い技
ばかり教えてたのにい

この師、仙龍になって五百年
初めて弟子に取った少年が
可愛くて可愛くて
仕方がないのである

ん

ちよつとかつこつつけて
冷静沈着な師匠キャラとして
接し続けていたのが
大きな間違いであった

もう教える事なんて殆どないよおおおー!!

わ

もろちよつと一緒にならばうらやましー!

でも今まで師匠っぽいキャラで
接してきたから
今更こんな事言えないい

う

あの日助けた少年が
日に日に見目麗しい青年へと
成長してゆく姿に対し
寡黙な師匠キャラを保つために
5年前から仙術を駆使し
禁欲の封を自らに
課したのだが

5年もの間押しとどめていた
弟子への愛欲と情欲は
爆発寸前になっていたのである

かわいいかわいい弟子
心配だよ
腕つぶしはもう心配ないけど
ずつと仙境で育ててきたから
超世間知らずだからなあ

都会の雌に
コロツと籠絡されたりしたら...



せめて定期的に帰ってきて
もらえるように...
なんとかしないと



夕食後に
私の部屋に
来なさい

最後の教えとは
何だろうか...





旅先の村や街には色事の誘惑は多い

なので弟子よ

ほ



その女耐性の無さ問題だ

うん
それだよ

ししし
師匠
服を...!!



師一
賭世二
代ある

今こころで
童貞を
捨てていけ

訓練だと思って
私を抱けっ

あはれ

色欲に打ち勝つために
女を知るのも修行の一つだ

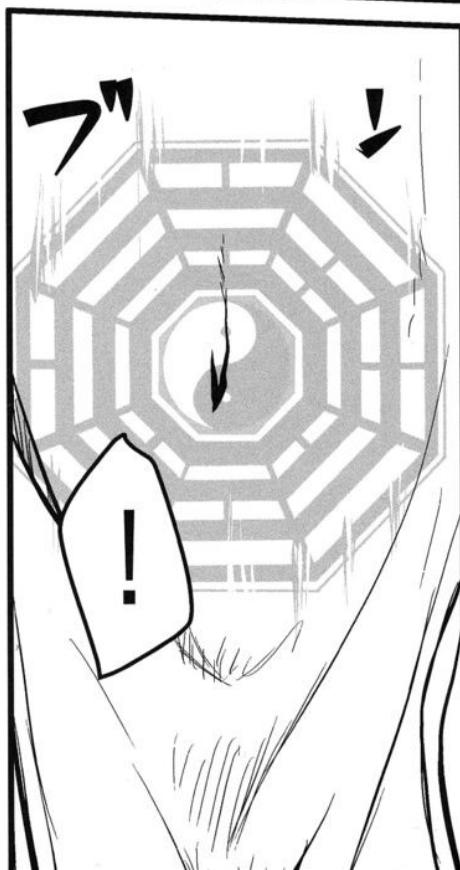
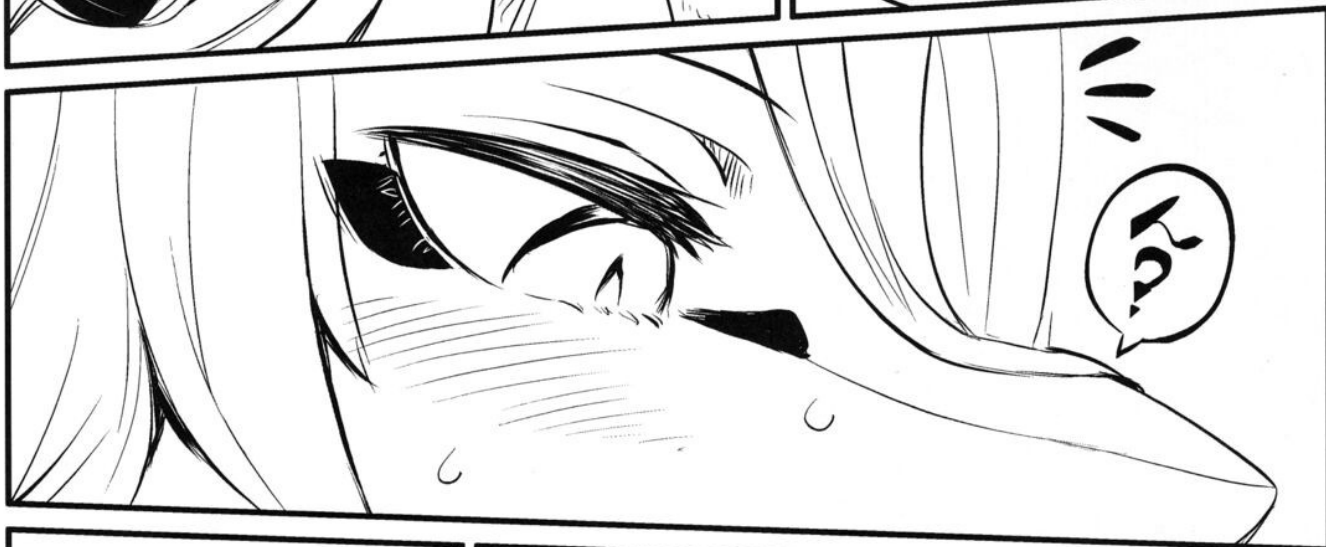
私は仙龍
閨事一つで
浮き立つ歳でもない

ええっ

うそ
虚偽である

弟子が入ってきた時点で
洪水のように愛液が
染み出しているのを
隠すのに
必死であった

さあ
女のを
教えてやる



興奮しているのは
気の流れて分かるんだけど...

なんでか淫気が殆ど
感じられない...?



あつ師匠
だめ!
それだけはっ

弟子よ
この術は教えて
いないはずだが
自らで
編み出した
のか?



ああ
これが

自身の欲を
封じ込む術



さあ師に
お前の雄としての
力を見せてく

まよろん



これから交わるというのに
このような術は無粋だぞ

抱かれる前に本能が落ちてしまった



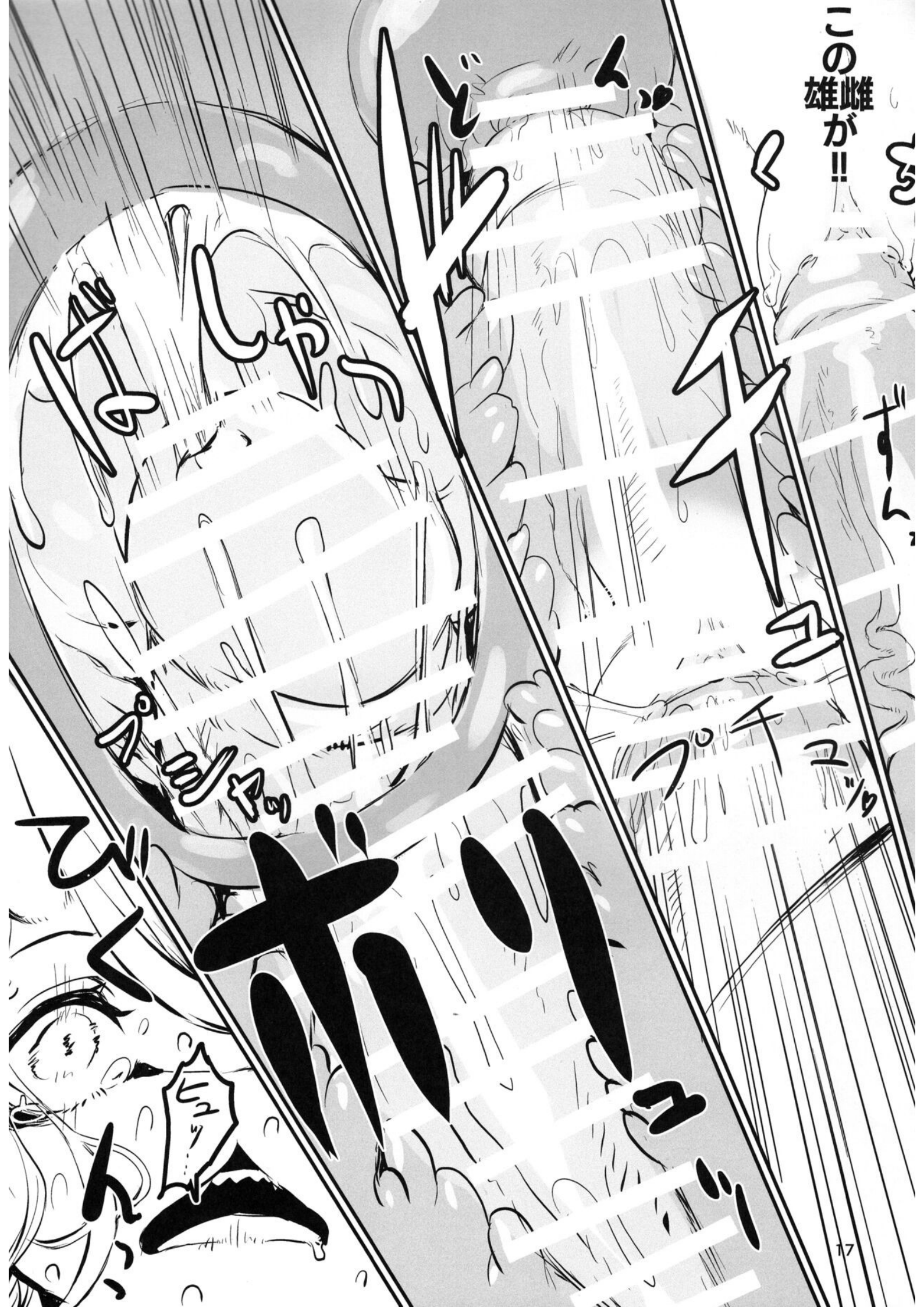
この雄に孕まされないのであれば

雌である意味がない



もはや前戯等 必要なし!!

この雌が!!



なんて事…
一突きで子袋を貫かれて



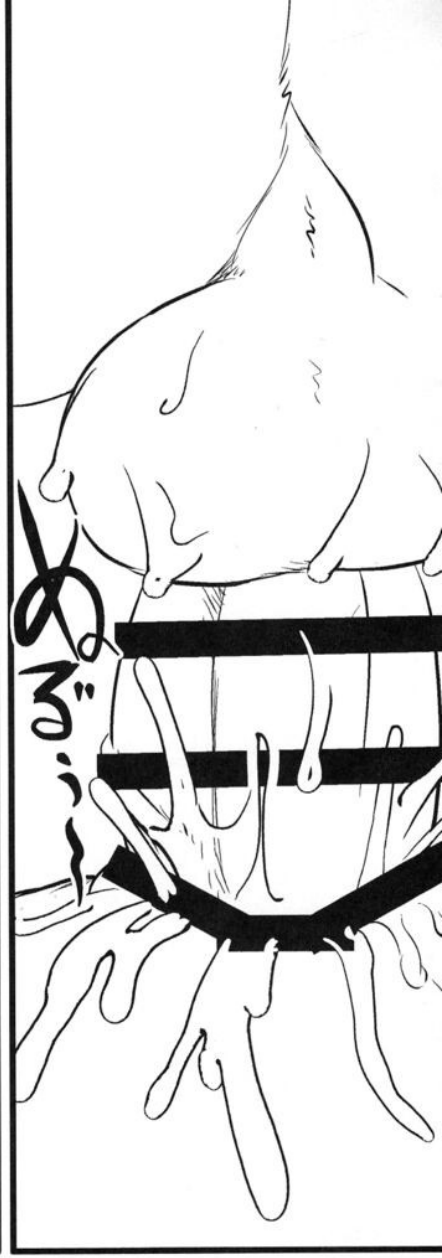
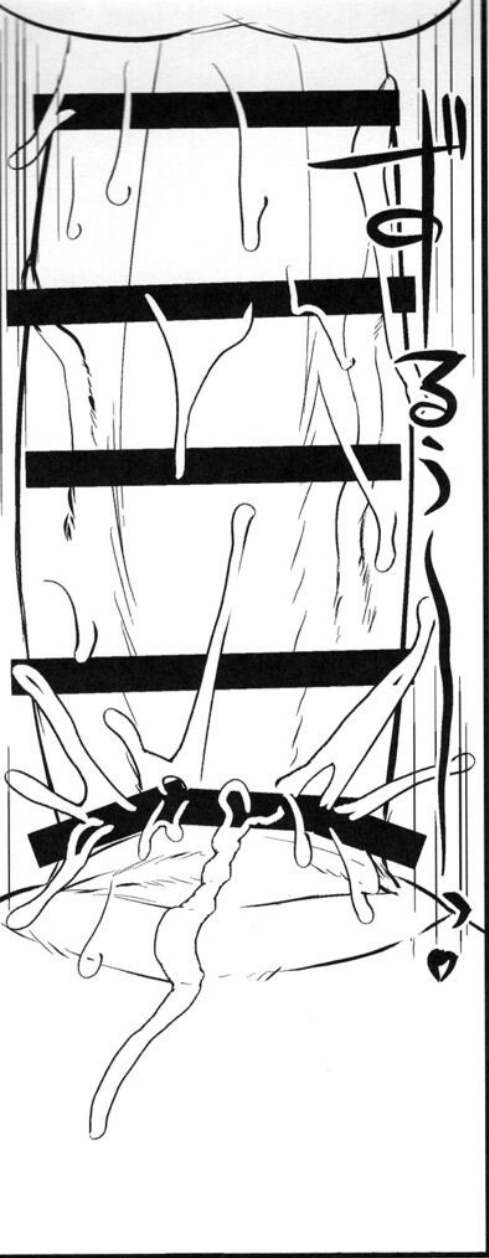
上澄み!!?
これが…!!?

すみません師匠

上澄みが
少し零れました



一瞬で
種付けされた…!!!



射精してっ

おっきいの...っっ
イキますッ

師匠っ...!!

全部
腔内にッ

数年後

本当に
ありがとうございました

拳聖様

この村は
盗賊から救われました

是非とも
村をあげて
御礼を……

いえ

ただ人々が
健やかである事
のみが
報酬です

では私は
これにて

おにお
おに
消えて
しまわれた

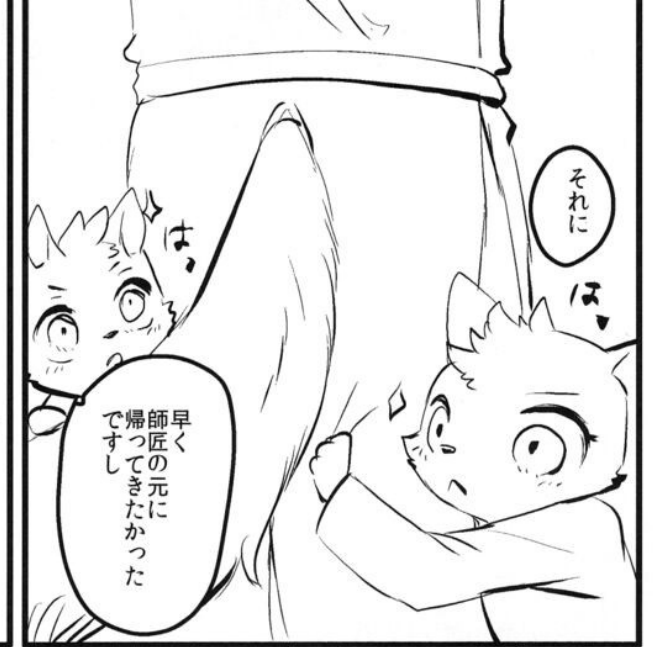
悪に苦しめられる
人々の
助けを求める声を聴き
師である仙女様に
授かった力で
仙境よりご降臨なされ
見返りを求めずに
帰って行かれる

なんと
高潔な
お方なんじゃ

間違いである

あーびだか……







奥付

発行日：2024年1月21日 新春けもケット10
発行者：よーな
発行元：ほしふたつ。
連絡：yo_na8982@yahoo.co.jp
X：https://twitter.com/yoo_oono
印刷：株式会社サングループ